

ヨタカ

Caprimulgus indicus jotaka
Temminck & Schlegel

ヨタカ目

CAPRIMULGIFORMES

ヨタカ科

Caprimulgidae

カテゴリー

大分県 IB

環境庁 掲載なし

選定理由 生息数が激減している。

県内分布 全県の平地から山地の疎林に生息する夏鳥。

分布域 北海道、本州、四国、九州で夏鳥。

中国全域、朝鮮半島で繁殖。東南アジアで越冬。

生息環境 低山から山地の明るい林、農耕地内の残存林などに生息し、地上に直接卵を産む。薄暮から夜行性で、飛びながら昆虫類を捕食する。

現 状 里山の夜行性の鳥で身近な鳥であったが、近年鳴き声を聞くことが少なくなった。農薬の空中散布などの影響が考えられる。

アマツバメ

Apus pacificus kurodae
(Domaniewski)

アマツバメ目

APODIFORMES

アマツバメ科

Apodidae

カテゴリー

大分県 準

環境庁 掲載なし

選定理由 生息数が少ない、繁殖地が局限されている。

県内分布 海岸や山地の絶壁で繁殖する夏鳥。

分布域 北海道、本州、四国、九州、奄美諸島で繁殖する夏鳥。

中国、シベリア東部で繁殖。中国南部以南で越冬。

生息環境 高山や海岸の急峻な絶壁などに集団で繁殖する。ハエなどの飛翔性昆虫を飛びながら捕食する。雲が低い時には平地の上空でも見られる。

現 状 県内では、深島、高島、沖黒島、鶴見半島、飯田高原などで観察されている。

備 考 北海道には、別亜種キタアマツバメ(*A.p. pacificus*)が分布する。

アカショウビン

Halcyo coromanda major
(Temminck & Schlegel)

ブッポウソウ目

CORACIIFORMES

カワセミ科

Alcedinidae

カテゴリー

大分県

環境庁 掲載なし

選定理由 道路などの開発により、生息環境が悪化したため、生息数が減少している。個体数は非常に少ない。

県内分布 全県の平地から山地の溪流に生息する夏鳥。

分布域 亜種アカショウビンは北海道、本州、四国、九州、種子島、屋久島で繁殖する夏鳥。奄美諸島以南には別亜種リュウキュウアカショウビン(*H.c. bangsi*)が留鳥。朝鮮半島、日本、台湾で夏鳥。東南アジアで留鳥。

生息環境 溪流沿いなどのよく茂った湿気のある林に生息し、朽木に穴を掘って営巣する。湿った林床で、カエルなどの両生類、爬虫類、甲殻類、無脊椎動物などを採食する。

現 状 県内では、年に5回程度の観察記録があるのみである。